

全国保健所長会総会 全体協議

令和元年10月21日

# グローバルヘルスの課題に 保健行政はどうかかわるか

地域保健総合推進事業

「グローバルヘルスの保健所機能強化への活用方法確立  
および

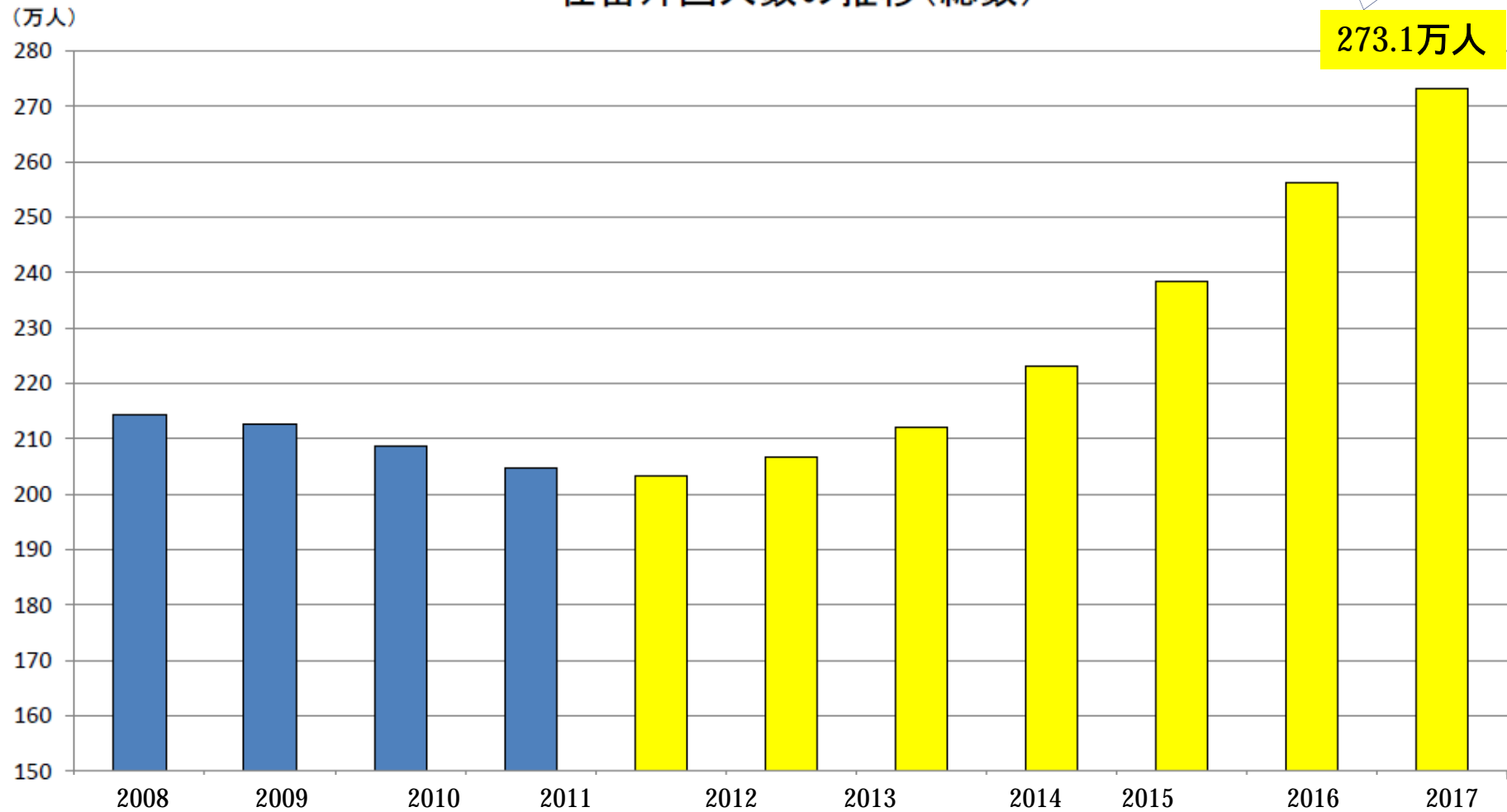
開発途上国に対する日本の衛生行政経験の伝達可能性の模索」  
班活動

東京都多摩立川保健所長  
渡邊洋子

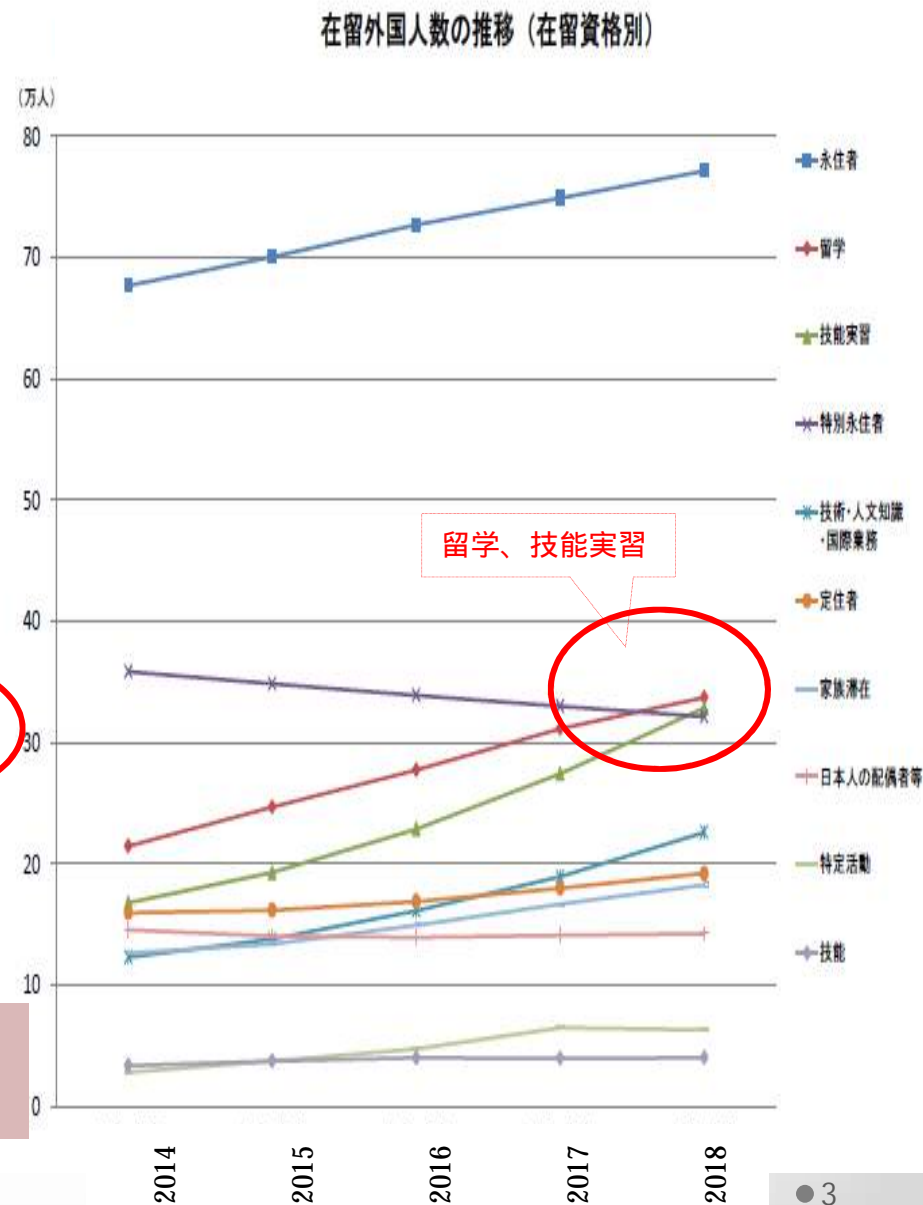
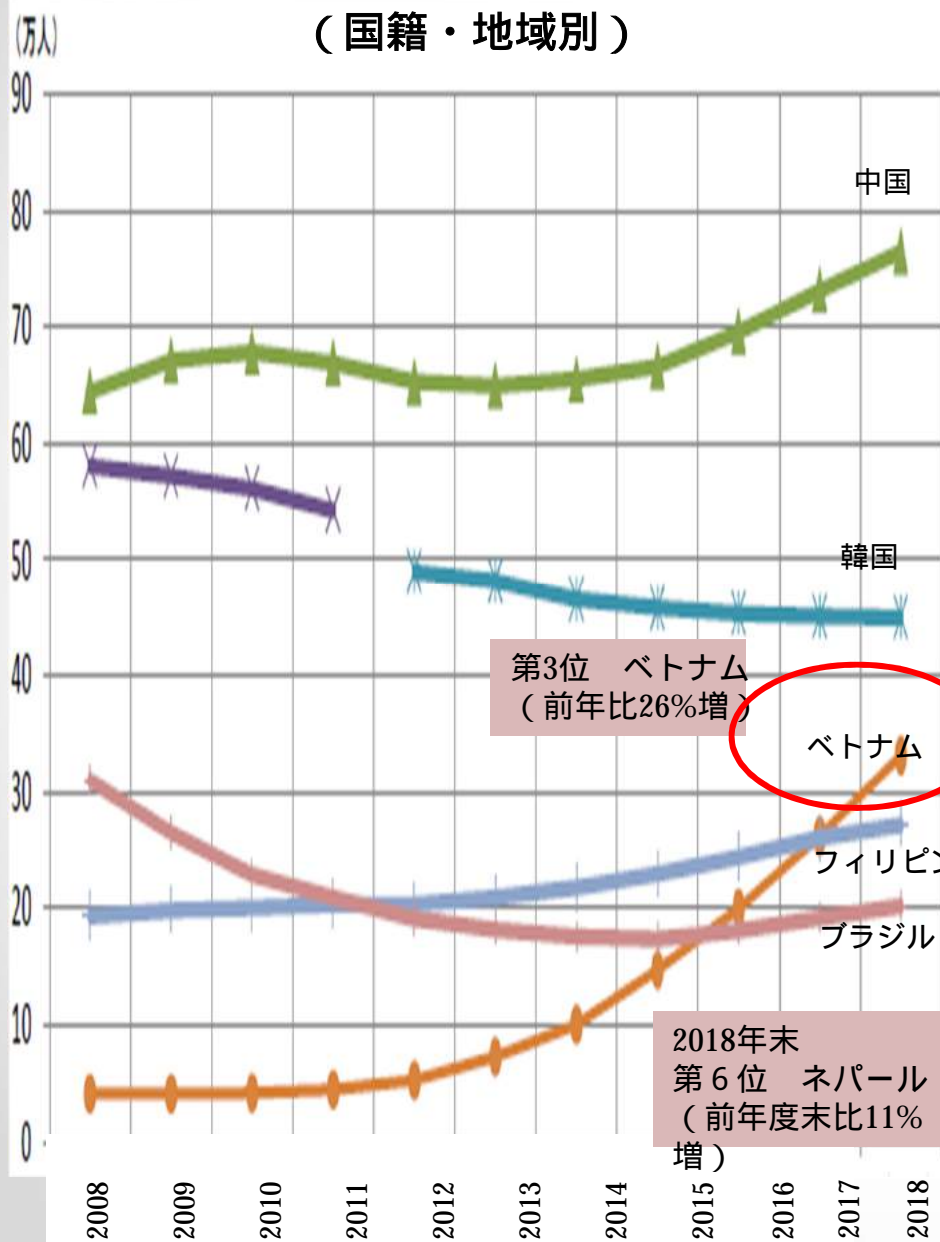
# 在留外国人の増加

総人口に占める外国人の割合  
2.0%

在留外国人数の推移(総数)



# 在留外国人の推移



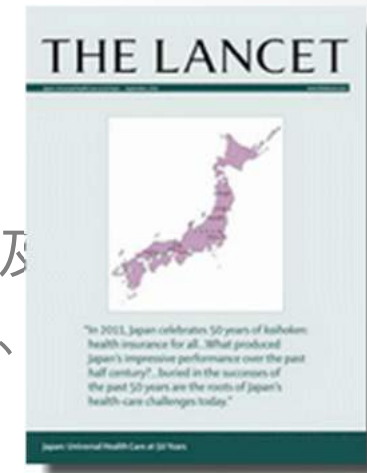
# 世界から注目されている日本

- UHC

The Lancet 2011.9.1号

日本特集 国民皆保険制度50年

- ✓ 基本的な保健サービスをできるだけ多くの人に普及
- ✓ 日本の保健医療システムは、日本国民のみならず、世界の人々の健康のバロメーターである



- 戦後の公衆衛生の発展

- 結核対策
- 母子保健 母子健康手帳

- 高齢化社会への対応



国際母子手帳委員会事務局長 板東あけみ氏撮影

# 事業の位置づけ

指定課題『国際保健の推進』

- 社会のグローバル化により保健所が外国人に対して対応する機会や、これまで日本が経験しなかったような事例（輸入感染症など）を経験する機会が増えている。

グローバルヘルス（国際保健）領域で培われてきた経験を取り入れること、**国際的な視点を持つこと**が、国内での保健所機能強化につながる。

- これまでも戦後の母子保健や結核対策に成功してきた日本の公衆衛生経験は、途上国に対する国際協力に役立ってきた。

今後もユニバーサルヘルスカバレッジ、高齢者対策、感染症対策等、日本の地域保健衛生行政経験を海外に伝えることで国際貢献に寄与できる。**先進国として国際的に貢献すべき。**

- 上記からも、国際保健・日本の地域保健双方に精通している（**幅広い知識や視野を持つ**）行政医師等を育成する必要がある。 •

# 「グローバルヘルスの保健所機能の強化への活用方法確立および開発途上国に対する日本の衛生行政経験の伝達可能性の模索」(以下GH研究班)の概要

H28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドカフェ形式で課題の抽出</li> <li>・保健所業務上の課題の現状調査実施</li> <li>・コンセプトペーパーの作成</li> </ul>	
	<b>保健所機能強化WG</b>	<b>GHへの貢献・人材の相互貢献WG</b>
H29	<p>現状調査の詳細検討 既存多言語行政文書(結核)のリスト化 作成すべきツールの決定</p>	<p>開発途上国での勤務経験のある衛生行政従事者へのインタビュー PCM手法を用いた行政職員への研修の実施</p>
H30	<p>ツール作成; 保健行政窓口のための外国人対応手引き(第1版結核) 多言語行政文書(結核)集</p>	<p>国内外で活躍できる公衆衛生医師を育成する社会医学系専門医プログラムのプロトタイプへの参加意向調査 「日本の経験のGH分野への貢献」に関し、行政医師間でのPCM手法による討議</p>
R元	<p>ツール増補; 同第2版精神保健 言語数の拡大(結核)</p>	<p>公衆衛生大学院と専門医プログラム連携の試行、職員をGH領域に出向させた事例の詳細調査 他国研修員向けの研修資料の実態調査</p>

# 班員の構成

## 行政職

- 国際保健の領域で開発途上国等での実務経験のあるもの
- 全国保健所長会国際協力事業で海外視察に参加したもの
- 日常業務において外国人に対応する経験に富んでいるもの

## 大学職

- 国際保健の領域で開発途上国等での実務経験のあるもの
- 行政職の経験のあるもの
-

スーパー  
ゴール

グローバル化時代の保健所機能が強化される  
日本の保健衛生行政経験から国際保健領域に貢献する

上位  
目標

グローバルな視点を持った  
保健衛生行政職員が増える

グローバル化課題  
への職員の対応能  
力が向上する

研究班  
目標

1.  
他国の研修員の受入れを  
通して保健衛生行政経験  
が国内の保健所職員にも  
共有され、討議される

2.  
国際保健の現  
場経験を積ん  
だ職員が確保  
される

3.  
国内の公衆衛生医師  
育成プログラムに国際  
保健が組み込まれ  
る

4.  
保健所業務上対応  
が必要なグローバル  
化課題に有用な  
情報が整理される

1-1.  
他国からの研修を受け入れた  
事例の検討

1-2.  
日本の地域保健経験を他国に  
示すことができる研修資料の  
作成・整理

1-3.  
他国の保健システムを学べる  
資料の作成・整理

2-1.  
他国において国際保健の経験  
を積んだ事例の検討

~~2-2.  
国際保健の現場経験後に現職  
復帰できるシステムの検討~~

3-1.  
国際保健を取り入れている  
社会医学系専門医プログラ  
ムの検討

3-2.  
公衆衛生大学院と社会医学系  
専門医プログラムの連携の試  
行

4-1.  
保健行政窓口対応のための  
手引きの作成

4-2.  
多言語版の行政文書の作成

当面は、当研究班の活動には入れない



# 保健所機能強化

## 日本の保健衛生経験から国際保健領域に貢献

社会医学系専門医プログラムとの連携

先方のニーズに合った  
研修資料

国外研修員への講義  
視察受け入れ



自国への活用



手引き  
多言語文書

住民サービスの  
質の向上



- ・ グローバルな視点を持つ
- ・ 課題への対応能力が向上

# 保健所における地域保健業務への国際 化影響調査（H28年度活動）

## ● 概要

- 地域保健の日常業務においても新たな課題に直面している所は少なくないと推察される。
- 現状でグローバル化が保健所の保健予防、生活衛生、健康づくり等の日常業務に与えている影響について調査した。
- 平成29年1月に国内全480保健所に対してアンケート調査を実施。
- 回答数295ヶ所（61.5%）  
影響あり188カ所(63.7%)

# ● 結果

該当事例の分野別 ( 経験あり保健所188ヶ所 )

( 複数回答可 )

	経験あり	該当事例の分野														
		結核	麻疹・風疹	性感染症	新興感染症	他の感染症	母子保健	精神保健	AIDS	難病	児童福祉	高齢保健	食品衛生	生活衛生	自然災害	その他
県型	137	116	6	3	3	17	20	33	17	15	2	0	32	9	1	8
市型	43	35	3	1	3	6	17	11	7	3	5	1	9	2	0	9
区型	8	6	2	3	2	3	5	5	2	1	2	0	1	1	1	0
計	188	157	11	7	8	26	42	49	26	19	9	1	42	12	2	17

結核が最も多く ( 157ヶ所 : 83.5% )、続いて精神保健 ( 49ヶ所 : 26.1% )、母子保健 ( 42ヶ所 : 22.3% )、食品衛生 ( 42ヶ所 : 22.3% ) 等であった。

## 該当事例における課題別（経験あり保健所188ヶ所）

	経験あり	該当事例の課題												
		言語	日本文化	外国文化	宗教	職場・仕事	金銭・生活	医療費	日本医療システム	外国医療システム	家族・親戚	交友関係	在留資格	その他
県型	137	119	8	34	5	40	31	33	24	21	17	9	21	30
市型	43	39	6	15	4	8	13	12	12	9	5	3	10	9
区型	8	7	0	5	1	0	3	3	5	1	3	1	3	4
計	188	165	14	54	10	48	47	48	41	31	25	13	34	43

（複数回答可）

「日本語とは異なる言語が、事例に対応する上で課題だった」と回答した保健所が最多（165ヶ所：87.8%）、続いて外国の文化（54ヶ所：28.7%）、職場・仕事（48ヶ所：25.5%）、医療費（48ヶ所：25.5%）、金銭・生活（47ヶ所：25.0%）、日本の医療システム（医療費を除く）（41ヶ所：21.8%）の順となっていた。

スーパー  
ゴール

グローバル化時代の保健所機能が強化される  
日本の保健衛生行政経験から国際保健領域に貢献する

上位  
目標

グローバルな視点を持った  
保健衛生行政職員が増える

グローバル化課題  
への職員の対応能  
力が向上する

研究班  
目標

1.  
他国の研修員の受入れを  
通して保健衛生行政経験  
が国内の保健所職員にも  
共有され、討議される

2.  
国際保健の現  
場経験を積ん  
だ職員が確保  
される

3.  
国内の公衆衛生医師  
育成プログラムに国際  
保健が組み込まれ  
る

4.  
保健所業務上対応  
が必要なグローバル  
化課題に有用な  
情報が整理される

1-1.  
他国からの研修を受け入れた  
事例の検討

1-2.  
日本の地域保健経験を他国に  
示すことができる研修資料の  
作成・整理

1-3.  
他国の保健システムを学べる  
資料の作成・整理

2-1.  
他国において国際保健の経験  
を積んだ事例の検討

~~2-2.  
国際保健の現場経験後に現職  
復帰できるシステムの検討~~

3-1.  
国際保健を取り入れている  
社会医学系専門医プログラムの  
検討

3-2.  
公衆衛生大学院と社会医学系  
専門医プログラムの連携の試  
行

4-1.  
保健行政窓口対応のための  
手引きの作成

4-2.  
多言語版の行政文書の作成

当面は、当研究班の活動には入れない

保健所のグローバル化対応能力強化  
ワーキンググループ  
(以下保健所機能強化WG)の活動

平成29年度から

# ● 実態調査から見えた課題

## 1. 言語の問題

- アジア諸国の言語
  - 英語だけでは通用しない。
  - 調査では、31か国語
- 医療通訳
  - その言語に優れていることと同一ではない。
- 翻訳文書の質の確保
  - 特に希少言語
- やさしい日本語
  - 行政文書特有の難しい単語
  - 日本人にも必要な平易なわかりやすい単語や言い回し

# ● 実態調査から見えた課題

## 2. 文化習慣の問題

### 母子保健

- 妊婦健診、乳幼児健診を受けるということ
- 保健師/助産師が家庭訪問をするということ
- 離乳食の概念

### 感染症/結核

- 入院するということ
- マスクをする習慣
- 胸部X線撮影時の男性技師（イスラム教徒）



# 結核対策 外国人対応時の課題

- 言語
- 勧告入院 *入院するという文化習慣の差異*
- 服薬支援 服薬中断を避けるための長期支援、帰国後の継続 *服薬することの解釈の差異*  
*保健所で薬がもらえると思っていた*
- 接触者健診について *同国人コミュニティーに知られたくない*
- 雇用主・学校との関係 *解雇・帰国させられることの不安*
- 在留資格との関係 *入管に通報されるのではないか*

# 保健行政窓口のための 外国人対応の手引き

## 第1版



2019年3月策定

平成30年度地域保健総合推進事業  
グローバルヘルスの保健所機能強化への活用方法確立および  
開発途上国に対する日本の衛生行政経験の伝達可能性の模索  
(全国保健所長会グローバルヘルス研究班)  
分担事業者：劔陽子(熊本県御船保健所)

保健所のグローバル化対応能力強化ワーキンググループ著  
グループリーダー：矢野亮佑(青森県三戸地方保健所)

## 内容

### 第1章 総論：丁寧なコミュニケーションを心掛けましょう

1. やさしい日本語を使いましょう
2. 医療通訳を使いましょう
3. 医療通訳者を確保できない場合の方策を考えましょう
4. 通訳体制を確立しましょう
5. 地域で医療通訳体制をつくりましょう

#### ヒント1 効果的な面接を行うためのポイント

### 第2章 総論：相手の背景を理解しましょう

1. 言語
2. 宗教・文化・国民性
3. 保健・医療
4. 支払能力
5. 支援環境
6. 在留資格
7. 移動(異動)予定

### 第3章 結核：自己紹介しましょう

### 第4章 結核：相手に説明しましょう

1. 入院すること
2. 就業制限、就業復帰の時の注意事項
3. 接触者健診
4. 治療支援

#### ヒント2 治療中断にならないための服薬支援ポイント

工具箱

# 多言語の行政文書や説明資料

- さまざまな機関・団体が作成している
  - Web上に公開
  - 愛知県 医療機関等外国人対応マニュアル
  - 結核予防会 外国人向け結核パンフレット、外国語版服薬手帳

## 注意

連絡先等が、作成した機関・団体の固有の宛名になっていることがしばしばある。

- 他県の住民から、問い合わせが入ってしまう事例あり



**ニーズの高いアジア諸国言語、汎用性のある様式の結核行政文書の作成**

# 保健行政のための 多言語行政文書集

第1版



2019年3月策定

平成30年度地域保健総合推進事業  
グローバルヘルスの保健所機能強化への活用方法確立および  
開発途上国に対する日本の衛生行政経験の伝達可能性の模索  
(全国保健所長会グローバルヘルス研究班)  
分担事業者：船岡子(熊本県御船保健所)

保健所のグローバル化対応能力強化ワーキンググループ著  
グループリーダー：矢野亮佑(青森県三戸地方保健所)

## 【結核】

就業制限等通知書(本人)  
就業制限等通知書(保護者)  
入院勧告書(19条)...応急入院  
入院勧告書(20条)  
入院延長について  
結核と診断されたら(第37条)  
入院勧告に基づく入院治療の医療費公費負

担

制度(第37条)  
結核と診断されたら(第37条2)  
一般の結核医療に対する公費負担制度  
(第37条2)  
入院負担義務者について  
接触者健診勧告書

日本語(翻訳元原本)

インドネシア語

ネパール語

ベトナム語

別添資料 結核についての問診票

(A3サイズ 日本語対英語)

# 令和元年度の活動

- 手引き第2版の作成

- 精神保健



母子保健、食品衛生などへ分野を拡大

- 行政文書

- 引き続き結核文書の多言語翻訳

タイ語・ビルマ語・ヒンディ語

中国語・タガログ語・韓国語



精神保健文書など、分野を拡大

Think globally, act locally